

てんのり

— 発行所 —
社会福祉法人一仁会
山口県周南市大字大河内一〇五二八番地の二〇
特別養護老人ホーム天王園
天王園シヨートステイ
天王園デイサービスセンター
天王園在宅介護支援センター
グループホーム天王園

特別養護老人ホーム

ハロウィンパーティー

十月二十九日、ハロウィンパーティーを開催しました。当日は利用者様や職員が仮装を楽しみ、施設内はいつも以上に明るく、にぎやかな雰囲気になりました。

会場では、ハロウィンにちなんだ装飾が施され、記念撮影やレクリエーション、職員による出し物が行われました。参加された利用者様からは「楽しかった」「久しぶりに笑った」といった声が聞か

れ、終始なごやかな時間となりました。また季節を感じていただくべく、ハロウィン



ン仕様のおやつも提供され、目でも舌でも、そして心でも楽しめるひとときとなりました。

クリスマス会

十二月二十四日、クリスマス会を開催しました。会場はクリスマスの雰囲気に彩られ、終始あたたかなムードの中で進められました。

当日

は職員が息の合ったダンスを披露し、音楽に合わせて体を動かす職員の姿に、会場からは大きな拍手と笑顔があふれていました。



また、サンタクロースに扮した職員から、クリスマスプレゼントとして靴下を手渡され、利用者様はほくほく顔で受け取られていました。

デイサービスセンター

クラシックギター演奏会

十月十八日「トックーズ」の

皆様が慰問に来られクラシックギターの演奏を聞かせて下さいました。穏やかな音色に利用者様も耳を傾けておられました。心安らぐひとときとなりました。



ふくろうと紅葉の秋の風景

十一月、お花紙を一つずつねじって色合わせしながらふくろう



と木を表現し、また折り紙を紅葉の形にして紐に貼って吊り下げ、動く彫刻モビールにして、秋の夜の風景が完成しました。

利用者様は指を使い細かい作業でしたが、集中して取り組まれました。

クリスマス会

十二月二十四、二十五日、二日間にわたり心温まる催しが行われました。

二十四日は、「プアピカケ」の皆様が慰問に来られ、フラダンスを披露されました。色鮮やかな衣装に身を包み、ハワイアンミュージックに合わせた優雅な踊りで、会場は一気に南国の雰囲気に包まれました。



二十五日は、職員によるハンドベル演奏やダンスが披露されました。演奏では、途中から利用者様も加わり息の合ったハンドベルの澄んだ音色が会場に響き渡り、続くダンスでは「サザエさん」のテーマに合わせた元気なパフォーマンスに大きな拍手と笑顔が溢れました。年の瀬も押し迫る中でしたが、この二日間を通じて、利用者様との温かな交流の時間を過ごすことができました。

グループホーム

紅葉見物

十一月二十一日、穏やかな秋日和の中、伊藤公記念館に紅葉見物に出掛けました。庭園

や建物のまわりには、赤や黄色に色付いた木々が広がりました。



歴史ある建物と紅葉が調和した景観は趣深く、利用者様はゆつくりと散策しながら、秋の深まりを肌で感じる事ができ、また自然と文化に触れる貴重な機会となりました。

心を込めた年賀状

年の瀬を迎え、利用者様がご家族宛てに年賀状を作成しました。年賀状には、新年のあいさつとともに「元気に過ごしています」「また会える日を楽しみにしています」「等、それぞれの思いが丁寧な文字でつづられています。



職員の見守りのもと利用者様は一枚一枚心を込めて宛名を書き、色鉛筆やスタンプで飾りつ

けをしました。

直接会う機会が限られる中でも、手書きの年賀状を通じて、ご家族とのつながりを感じていただく大切な時間となりました。

シヨートステイ

新聞紙ちぎり競争

十一月三日、レクリエーション活動の一環として「新聞紙ちぎり競争」を実施しました。利用者様は新聞紙を縦横に長くちぎり、その長さを競い合いました。

競技が始まると、利用者様は真剣な表情で新聞紙に向き合い、指先に力を込めながら慎重にちぎり進めていました。途中で紙が切れてしまう場面も見られましたが、「惜しい」「頑張つて」といった声が飛び交っていました。



白熱した競争の結果、見事に一番長くちぎることに成功したシヨートステイ利用者様チームが優勝しました。結果発表の際には大きな拍手が送られ、達成感あふれる笑顔が印象的でした。

今回のレクリエーションは、指先の運動や集中力の向上に加え、利用者様同士の交流を深める良い

機会となりました。今後も楽しみながら参加できる活動を継続していきます。

地域交流

心温まるクリスマスプレゼント

十二月二十三日、ボランティアグループ「レインボークラブ」様より、クリスマスプレゼントとして色とりどりのクッションと膝掛けをご寄贈いただきました。

明るい色合いのクッションや膝掛けが届けられると、施設内は一足早くクリスマスの雰囲気になりました。実際に手に取って使われる様子も見られ、心とむひと時となりました。

地域の皆様による温かいご支援とご厚意に、利用者ならびに職員一同、心より感謝申し上げます。

今後とも地域とのつながりを大切にしながら、安心とぬくもりのある施設づくりに努めてまいります。



在宅介護支援センター

ブラランチ活動記

十二月一日、ゆめプラザ熊毛で

実施されたいいき百歳体操の支援を行いました。

このグループは毎週月曜日に集まり、百歳体操にあわせて棒やボールを使用した体操にも取り組み、介護・認知症予防を目指しています。

今回は体力測定と体操終了後に、市職員（歯科衛生士）による口腔乾燥症（ドライマウス）についての説明がありました。口腔内が乾燥するなど唾液がなくなると口腔機能の低下や病気になりやすくなることの説明、道具を使用しないで唾液の分泌量を増やすマッサージの方法の実演など、会場の皆さんからもとても好評でした。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、ご家族、地域並びに関係者の皆様にご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年も、関係各位とのつながりを大切にしながら、利用者様が安心してその方らしく暮らせるよう、質の高いサービスの提供や環境づくりに努めてまいります。で、よろしくお願ひいたします。末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年のご挨拶いたします。